

D 配管の支持

D - 013

横引き配管の耐震支持

単位 mm

施工方法

	設置場所	設置間隔	支持材の種類	適用除外	適用階の区分
耐震クラスAに対応	上層階	配管の標準支持間隔の3倍以内。ただし、銅管の場合は4倍以内に1箇所設ける	すべてA種	50A以下の配管。ただし、銅管は20A以下の配管 吊り材長さが30cm以下の配管	
	屋上		50m以内に1箇所は、A種とし、その他はB種にて可		
	塔屋		すべてB種でも可		

上層階の定義

- ・2～6階建ての建築物では、最上階を上層階とする。
- ・7～9階建ての建築物では、上層の2層を上層階とする。
- ・10～12階建ての建築物では、上層の3層を上層階とする。
- ・13階建て以上の建築物では、上層の4層を上層階とする。

中間階の定義

- ・地階、1階を除く各階で上層階に該当しない階を中間階とする。

ご注意！

これらの図は CAD データではありません。画像データです。施工図とは違い寸法とか縮尺は考慮していません。あくまでも標準的な施工要領の図です。図は編集しようと思えば可能です。

注) 耐震クラスには、S、AおよびBがあり、耐震クラスSの場合は、支持材の種類をA種からSA種に変え、中間階のB種をA種にする。各支持材の部材については、(財)日本建築センター発行『建築設備耐震設計』を参照。

文字は自由に編集できます。

SAおよび

天井スラブ等より吊り下げの方法	天井スラブ等より吊り下げの方法	床スラブより支持する方法
<p>はり (またはスラブ) に吊り下げる場合 (ラーメン架構)</p>	<p>ターンバックル 吊り材 斜め材 保温材 パイプ</p> <p>はり (またはスラブ) に吊り下げる場合</p>	<p>はり材 立て材</p> <p>ラーメン架構</p>

B種耐震支持方法の例

はりや天井スラブ等より吊り下げの方法 (1)	はりや天井スラブ等より吊り下げの方法 (2)
<p>斜め材 吊りボルト パイプ パイプクランプ</p>	<p>ターンバックル 吊りボルト 斜め材</p> <p>1以上 ▽ 2 (斜め材取付け角度)</p>